

Q：語彙力を増やす手立てや工夫はありますか。

A：語彙が豊かであると、言葉の引き出しが増え、表現の幅を広げていくことが期待できます。語彙に着目し表現を楽しむ力を育てていきたいですね。

アドバイス：

①様々な言葉遊びを取り入れてみましょう

言葉遊びは簡単に楽しく取り組むことができます。言葉を「集める」「分ける」「比べる」「選ぶ」といった言語操作の中に思考操作が組み込まれます。しりとりやなぞなぞ、回文や早口言葉など、子どもたちが「言葉っておもしろい」と感じられるような学習を取り入れ、普段から言葉遊びに親しませていきましょう。

②慣用句やことわざを習得させましょう

慣用句やことわざを習得すると、使える語彙や表現もぐんと増えてきます。意味とともに種類や特徴を様々な面から調べ、集めたり分類したりする学習とともに、クイズ作り、短文作り、オリジナルことわざ作りなど、楽しみながら取り組める活動も組み込んでいきましょう。

③漢字とともに学ぶように工夫しましょう

せっかく習う漢字ですから、漢字だけを習得するのではなく、使われ方とともにその漢字を含む語彙も一緒に習得できるといいですね。四字熟語や故事成語などは、慣用句やことわざと同様にクイズや文作りなどの活動を考えることができます。

④辞書を楽しく使いましょう

辞書を引く楽しさは、今まで知らなかった新しい言葉に出合う楽しさのほか、今まで分かっていたはずの言葉の別の意味を知る楽しさがあります。国語はもちろんのこと、他教科でも、分からない語句に出合ったら自ら辞書を手にとって調べる習慣が身に付くと語彙がぐんと広がります。

辞書を使うことに慣れる学習にもゲームが効果的です。辞書引きゲームや見出し語ゲーム、違った種類の辞書の読み比べや辞典作りなどの学習もあります。また、常に辞書を机の上に置き、引いた言葉には付箋をつけていく「辞書引き学習」もよく取り入れられています。付箋の数を友だちと競うことで意欲を高める効果もねらえるようですが、何といても常に辞書が身近にあることで、分からないことがあれば、すぐに辞書を引く習慣が徹底されることが大きな効果のようです。

⑤読書を好きにさせましょう

書物は語彙の宝庫です。読書好きの子は、語彙も知識も豊富です。本の紹介や読み聞かせ、またブックトークや読書発表会などの国語の学習を意図的に展開しながら読書好きの子を育てていきましょう。